

年末年始のご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も取引先の皆様、従業員の皆様、ご家族、地域の皆様に多大なるご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。さて、2020年は新型コロナウイルスにより仕事や私生活に大きな影響を受けた年でした。当たり前前に思っていたことが、いかに有難い事だったのかと改めて感じました。本社がある豊田市稲武地区ではこの10年人口減少が進み、このままでは成り立たないという危機感と常に向き合って事業を行ってきました。世界中で本当に必要な社会機能が再定義される中、変化に適応していく覚悟が必要な年だったと改めて思います。

その中でも弊社の自動車のサプライヤー事業を中心としたシートカバー製造事業は、一時は生産量が落ち込んだものの幸い車両メーカーの強い生産に支えられ早期の回復・挽回となり、改善を進めながら顧客の要望に最大限応える努力をしてまいりました。ものづくり人材の獲得と育成には引き続き会社としての取り組みを続け、コロナ禍の中でもやるべきことはやめず、やれる方法を考え、特に全社のQC大会はリモート形式で3拠点を繋ぎ実施するなど、感染拡大の中でも継続的に活動してまいりました。また、2015年より取り組んでいる地域活性化事業(OPEN INABU)では、社外ボランティアと共に地域交流イベントを開催し新たな関係人口の構築がなされました。「稲武の働き方革命」「INABU BASE PROJECT」として週3日は事業所就労・2日はマウンテンバイクガイドとトレイル造成という働き方についてもトレイルガイド事業が本格的にスタートしました。既存のビジネスを維持発展させつつ、地域の皆様からもより信頼される会社になれるよう、引き続き活動して参ります。

会社を取り巻く状況は目まぐるしく変化します。2021年も多くのチャレンジが待ち構えているでしょう。来るべき新生活様式に合う職場、サービス提供のため、従業員一同一丸となり更なる発展と飛躍に向け邁進して参ります。2020年の感謝を重ねて申し上げるとともに、2021年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年末年始のご挨拶とさせていただきます。

以上

令和2年12月25日

トヨタケ工業株式会社

代表取締役社長 横田 幸史朗